特許協力条約

10 SEP 2004

PCT

国際予備審査報告

REC'D 2 6 SEP 2003

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 SATO-04PCT	今後の手続きについて	は、国際予備審査 IPEA/4	報告の送付通知(様式 16)を参照すること 	PCT/
国際出願番号 PCT/JP03/00323	国際出願日 (日.月.年) 16	. 01. 03	優先日 (日.月.年) 1:	2. 03. 02
国際特許分類(IPC) Int. C	C17 F23G5/44	Ļ		
出願人 (氏名又は名称) 三要工業株式会社				
1. 国際予備審査機関が作成したこの	 国際予備審査報告を法b	———————— 拖行規則第57条(P	CT36条)の規定に	こ従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表	紙を含めて全部で	3 <-	-ジからなる。	·
□ この国際予備審査報告には、 査機関に対してした訂正を含 (PCT規則70.16及びPC) この附属書類は、全部で	で明細番、請求の範囲。 T実施細則第607号参	及び/又は凶回もt 注照)	D基礎とされた及び/⊃ &付されている。 	スはこの国際予備審
3. この国際予備審査報告は、次の内]容を含む。			
I X 国際予備審査報告の基	礎		•	·
Ⅱ □ 優先権				
Ⅲ 別 新規性、進歩性又は産	業上の利用可能性につい	ハての国際予備審査	E報告の不作成	
IV 開の単一性の欠如				
V X PCT35条(2)に規ジ の文献及び説明 VI	定する新規性、進歩性又	は産業上の利用可	能性についての見解、	それを裏付けるため
VII 国際出願の不備				
▼ 国際出願に対する意見	Ļ			
·				
		T		
国際予備審査の		国際予備審査報告	Fを作成した日 09.09.03 	
名称及びあて先 日本国特許庁(I PEA/J 郵便番号100-891	. 5	特許庁審査官(村	/51 ²	3L 9826
東京都千代田区酸が関三丁目	4否3号	電話番号 03-	-3581-1101	内線 3336

I.	国際予備審查報	段告の基礎			
1.	この国際予備審 応答するために PCT規則70.	に提出された差し替え用紙に	と基づいて作成され は、この報告費に	れた。(法第6条(PCT おいて「出願時」とし、オ	~14条)の規定に基づく命令に □報告書には孫付しない。
<u> </u>	出願時の国際	孫出題書類			
	明細魯	第	ページ、 ーページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と	
	明細書 明細書	第 第	ページ、 ページ、		付の書簡と共に提出されたもの
	請求の範囲	第	項、	出願時に提出されたもの	
	請求の範囲	第	項、 項、	PCT19条の規定に基 国際予備審査の請求書と	
!	請求の範囲 請求の範囲	第		四际 1 個 年 直 2 0 間 水 音 3	付の書簡と共に提出されたもの
] 図面	第	ページ/図、	出願時に提出されたもの	
	図面	第	ページ/図、	国際予備審査の請求書と	共に提出されたもの
	図面	第	ページ/図、		付の書簡と共に提出されたもの
ļĘ	明細書の配列	列表の部分 第	ページ、	出題時に提出されたもの	
_	明細書の配列	引表の部分 第	ページ、	国際予備審査の請求書と	
	明細書の配列	列表の部分 第	ページ、		· 付の書簡と共に提出されたもの
2.	上記の出願書類	質の言語は、下記に示す場	合を除くほか、こ	の国際出願の言語である。	
	上記の書類は、	下記の言語である	語であ	る。	
	☐ PCT規	のために提出されたPCT 則48.3(b)にいう国際公開 審査のために提出されたF	の言語	•	語
з.	この国際出願に	は、ヌクレオチド又はアミ	ノ酸配列を含んで	おり、次の配列表に基づ	き国際予備審査報告を行った。
	□ この国際	出願に含まれる書面による	5配列表		
		出願と共に提出された磁気		记列表	
		、この国際予備審査(また			湯
		、この国際予備審査(また			
	_				超える事項を含まない旨の陳述
	書面によ		と磁気ディスクに。	よる配列表に記録した配列	が同一である旨の陳述書の提出
	があった	-•			
4.		下記の啓類が削除された。	ページ		
	」 明細審] 請求の範囲	第 第			
1 7		第 図面の第		・ジ/図	
5. [_] この国際予(_ れるので、-		のとして作成した	:。(PCT規則70.2(c)	範囲を越えてされたものと認めら この補正を含む差し替え用紙は上
	•				
1					

国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP03/00323

	MANUAL OF		
	(PCT35条(2))	に定める見解、 	それを裏付ける
			有 無
			有 無
・ 管において、中心 、冷却水管との3 向いた位置に配置 ておらず、当業者	部から同心状 重管又は4重 することは、 にとって自明	に、エア供 管構造とし 国際調査報 なものでも	給管と、蒸 、燃焼室内 告に引用さ ない。
-			
•			
	請請求の範囲 囲囲 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	請求の範囲 1-5 請求の範囲 1-5 請求の範囲 1-5 請求の範囲 1-5 請求の範囲 1-5 おいて、いつののである。 中心部から同心状況を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	ESPITION Table Table